



2025 年 12 月 11 日
住友生命保険相互会社

～企業向けサービスWhodo整場（フウドセイバー）～
**株式会社UACJの働き方改革を支援
不妊治療と仕事の両立課題への相互理解促進**

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、プレコンセプションケア※¹領域における企業向けサービス「不妊治療と仕事の両立支援」ソリューション（サービス名称：Whodo整場（フウドセイバー）※²）の継続的なレベルアップに取り組み、企業のDE&I推進等の支援を進めています。

現在は、不妊治療のみならず、仕事をするうえで上手く付き合っていくべき各種健康課題についても取り扱いを開始するなど、コンテンツを拡充しています。

このたび、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境の整備を目的としたセミナーと相談窓口を株式会社UACJ（代表取締役 社長執行役員 田中 信二、以下「UACJ」）へ提供開始しましたのでお知らせします。

※¹ プレコンセプションケアとは、若い男女が将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うこと。次世代を担う子どもの健康にもつながるとして近年注目されているヘルスケアです。

※² 詳細は右記 URL をご参照ください。<https://www.sumitomolife.co.jp/corporative/non-insurance/whodos/>

1. UACJへの支援について

UACJは業務生産性を革新するとともに「社員が前向きに仕事に取り組める職場づくり」や、働き方改革、DE&I 推進の一環として「不妊治療と仕事を両立しやすい職場づくり」を目指しており、その実現に向けて以下の支援を行うことになりました。

a. セミナー（オンラインセミナー・動画提供）の実施

テーマ	概要
オンラインセミナー 不妊治療と仕事の両立支援における管理職の心得	不妊治療経験のある講師より、管理職に相談しやすい環境づくりのポイントや、相談された管理職の正しい受け答えについて説明しています。
動画提供 仕事と不妊治療を両立した人の体験談	不妊治療経験のある講師より、治療の体験談や周囲のサポートについて説明しています。

b. オンライン相談窓口の設置

管理職者の利用もOK

テキスト相談（24時間受付・通常2-3営業日での回答）



Zoomでの通話相談（事前予約制・1枠20分）



幅広いセンシティブな相談内容に対応

 妊活・不妊治療	 更年期症状	 月経・PMS	 妊娠・出産
 職場での悩み	 育児・子どもの相談	 パートナーとの関係	 人間関係

不妊症看護認定看護師／臨床心理士／キャリアコンサルタント／
看護師／助産師／生殖医療相談士／胚培養士／保健師／薬剤師／
管理栄養士／理学療法士など、各分野の専門家（有資格者）が
チームで対応（一部外国語も対応可）

c. セミナー実施・相談窓口設置の背景・実施しての感想・今後の展望

（UACJ人事部福本様のコメント）

当社は、不妊治療を受けながら安心して働き続けられる職場環境整備に取り組んでおり、その新規施策の一つとして今回ご依頼しました。

今回の専門講師によるセミナーを通じ、従業員が不妊治療に関する正しい知識や両立支援について学び、考える機会を提供できたと感じています。

今後も、様々な施策を検討・実施し職場内での理解促進に努めてまいります。

2. Who do 整場（フウドセイバー）の今後の展望について

住友生命は、お客さまの健康増進をサポートする Vitality 健康プログラムを中心とした WaaS（Well-being as a Service）※3を通じてお客さまのウェルビーイングに資するサービスの提供を目指しています。

その1つであるWho do 整場（フウドセイバー）の提供を通じて、企業で働く従業員一人ひとりが望んだ「理想のライフプラン」を実現できるよう、「不妊治療と仕事の両立」という大きな社会課題の解決や、いつかは子を持ちたいと思う従業員への早い段階からのサポートによる、社会課題そのものの縮小を目指します。

ローンチ以降、サービス提供企業数は着実に増えており、各企業の支援を実施しています。若年層に向けたプレコンセプションケアや、男性育休・産後うつに関するコンテンツの拡充も行っており、今後も社会のトレンドや企業からのニーズを踏まえて、協業パートナーを増やしながらサービスを充実させていきます。

※3 Vitality 健康プログラムを中心とするウェルビーイングに資するサービスエコシステムのことで。

【WaaS の取り組みイメージと本事業の位置づけ】



以上